

# 名鉄病院newsletter

平成22年 夏号



撮影 地域医療連携室 古澤 敦子

## ごあいさつ

名鉄病院 看護部長 服部 久美恵

今年も意欲あふれる新人看護師36名を迎えました。今年度から新人看護職員臨床研修が努力義務化され、ローテーション研修など教育体制を充実させ全職員で大切に新人を育てています。

当院は、附属の看護学校を併設し看護基礎教育から臨床に深く関わることが出来ます。実習では看護する同じ仲間という気持ちで指導にあたり、就職時にはスムーズに臨床に溶け込んでいくことができています。人の生命に深くかかわる使命をもつ私たちには、生涯にわたり継続した学習が必要で、看護管理者も1年間目標に向けて研究に取り組み、学ぶ姿勢を習慣化できるよう後輩に示しながら自己研鑽に励んでいます。患者さまのお世話をさせていただく中での強みは、患者さまに育てられるということです。療養生活を共に看させていただくこと、患者さまの笑顔が成長への大きな糧になります。看護学生は臨床にでると生き生きと輝き、看護師は患者さまの喜びにやりがいを感じています。今後とも皆様方と協力し地域医療に貢献していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

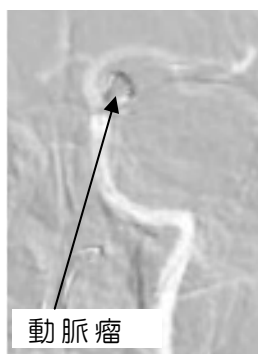
## 脳血管内治療の紹介

脳神経外科医長 竹内洋太郎

脳血管内治療とは、開頭手術の難しい場所にある脳の動脈瘤や脳の血管の奇形を血管の中から埋めてしまったり、脳の血管が細くなって詰まっている部分を広げたりする治療です。

脳血管内治療は開頭手術と比べ、「小さな傷（針を刺した孔のみ）で治療ができる」「脳自体を触らずに治療ができる」「多くの場合局所麻酔で治療ができる」「入院期間が短期間で済む」などいいことばかりの治療法のように聞こえるかもしれませんが。

しかし、開頭手術と比べまだ実用化されて日が浅く（平成4年に初めて保険収載されました）、また、長期 follow up の点でも確実性などに問題を残している部分もあり、決して夢の治療でも万能の治療法でもありません。開頭手術の歴史も古く、その確実性や危険性もはっきりしていますから、数年前までは脳の病気の治療はあくまでも開頭手術が第一で、脳血管内治療は主に開頭手術での治療が非常に困難な（あるいは危険性が高い）場合の治療法であるわけです。



コイル塞栓術

代表的な手術としてクモ膜下出血に代表される脳動脈瘤の塞栓術と頸部頸動脈狭窄症に対するステント留置術が挙げられます。脳動脈瘤塞栓術は電気離脱式コイルが発表された90年代後半から飛躍的に器材も進歩し、様々な種類のコイルが現在使用可能となりました。当院でも症例に応じてコイル塞栓術を行っております。また、破裂前に発見された未破裂脳動脈瘤に対しては開頭術と塞栓術両方の治療法の利点、欠点を説明し患者さんの希望に合わせて治療が行えるように工夫しております。

一方のステント留置術は平成20年の保険改訂で初めて保険収載されました。また、平成22年より2種類のステントが使用可能となりカテーテルの種類も増え今まで治療が困難であった病変に対しても治療が可能となってきており、今後も器材改良が進むにつれてより安全に治療を行うことができると考えております。

今回の News Letter は4月より当院に赴任いたしました脳神経外科の竹内が担当させていただきました。小生は平成8年名古屋市立大学を卒業し、脳神経外科の道を歩き始めました。今まで、開頭手術などの一般的な脳神経外科手術以外に、血管内手術も担当させていただき血管内治療の専門医を取得することができました。これまで開頭手術には踏み切れなかった患者さんなどにお話をいただきご紹介いただければ幸いです。今後ともよろしく願いいたします。



ステント留置術

＜病診連携医の皆様へ＞

脳血管内治療専門医資格を持ち、かつ開頭手術も出来る竹内医師をスタッフに迎えることができました。従来からの開頭手術治療と併せて、それぞれの良いところ取りをすることで、よりよい治療を進めて行くことが出来ると期待されます。これまで以上に、患者様の診療のご相談にお答えできると思います。何とぞ脳神経外科をよろしく願いいたします。

脳神経外科部長 大原 茂幹

# 産婦人科より

## 分娩扱い中止について

産婦人科部長 平尾有希恵

### ●産婦人科 医師の紹介

細井延行	(昭和49年卒)	病院長
平尾有希恵	(昭和63年卒)	産婦人科部長
片平智行	(昭和48年卒)	非常勤
小林良幸	(平成17年卒)	非常勤
大林伸太郎	(平成17年卒)	非常勤



一昨年より分娩数を制限しながらもなんとか継続の努力をしてまいりましたが、今年度8月より完全に分娩から撤退することになりました。



産科医不足が続くなか分娩集約化の動きは加速しています。当科が所属する名古屋市立大学の医局においても、地域ごとに中核となる周産期センターを決めて医師を集約し、常に安全な分娩と母体搬送の受け入れを保障する体制整えていく方針です。今後は当院のような中規模の病院への若手産科医の派遣は期待できず、このまま頑張っても遠からず限界が来ると予想し苦渋の決断をいたしました。

名鉄病院は昭和40年からお産をとってきた歴史があります。長年にわたり妊婦さんをご紹介頂きましたことを深く感謝いたします。

7月現在、常勤医は細井院長を含めて2名となりましたが、週に二日ある手術日には市立大学などから派遣医を招き安全面に配慮して万全の体制をとって手術に臨みます。従来の開腹手術のほかに内視鏡を取り入れて治療方法のバリエーションを増やしていくことが今後の課題と考えます。



以前から外来受診の予約が取りにくく御迷惑をおかけしていましたが、紹介患者さまは、希望日時に予約枠を確保するようしておりますので今後ともよろしく願い申し上げます。

### ●産婦人科 外来診療担当表

	月	火	水	木	金	土
1診	平尾	平尾	(平尾)	大林	平尾	平尾
2診		小林	片平			
3診		細井		細井		
午後	片平				片平	

※土曜日は第1のみ。火曜日の平尾医師の外来は水曜日へ移行する予定です。

## 紹介患者さまの快適な受診のために

# 紹介患者受付窓口を開設しました

### 1. 紹介患者受付

紹介患者さまにスムーズな受診をしていただくために専用の受付窓口を開設いたしました。

事前予約の有無に関わらず、紹介状をお持ちの患者さまは、1号館2階（地域医療連携室内）の紹介患者受付までお越しください。

受付待ち時間の短縮に努めます。

紹介患者さまを受診科までご案内いたします。



藤田

森 (NS)

佐々木 (医療ソーシャルワーカー)

### 2. 医療コンシェルジュ

病院初めての方や検査などがある方は医療コンシェルジュがご案内をさせていただきます。

紹介患者さまのスムーズな受診のお手伝いをいたします。

地域医療連携室では、医療コンシェルジュの資格を持った職員が3名在籍しています。

患者さまが当病院に来てよかったと思えるように日々頑張っています。



古澤

### 3. 医療福祉相談室

病気に伴う経済的・心理的・社会的不安、療養上の不安、その他お困りの方は、医療ソーシャルワーカーにお申し出ください。



伊藤 ソーサー ワーカー 大久保

(M S W)

### 4. 地域医療連携室

事前予約を行い、待ち時間の短縮と来院回数の短縮に努めます。

＜地域医療連携室からのお願い＞

紹介患者連絡書に必要事項をご記入の上、保険情報紹介状とともに（052-586-5756）までFAXで申込をお願いいたします。予約票をFAXで返送させていただきます。

緊急の場合等は、電話でのご予約も承っております。（052-586-5755）地域医療連携室まで連絡ください。

※なお、営業時間外（平日は17：00～翌日8：30）及び休日のFAXは、平日の朝9：00頃までにお返事させていただきます。



大澤 (医療ソーシャルワーカー) 古澤 (医療ソーシャルワーカー)

齋藤

## 3A病棟のご紹介



患者さまが早く退院できるように、職員一同笑顔で頑張っています。

3A病棟は、消化器外科・眼科を主科とした急性期病棟です。私達看護師は、年間約800件の手術に伴う患者さまへの、周手術期看護を提供しています。

看護は固定チームナースングを取り入れており、患者さまへは受持ち看護師がチームメンバーと共に継続性のある看護を提供させていただいています。

スタッフは明るく、病棟を駆け巡っているかのような元気な人達ばかりです。

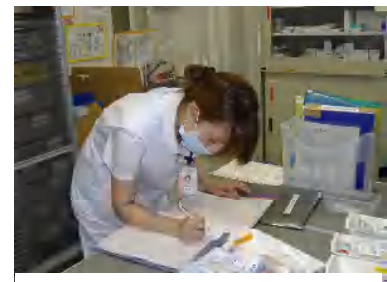
緊急手術も多く受け入れおり、受け入れが決まった時点で、リーダーを中心にスタッフ達が役割を分担し、スピーディーに手術が行えるよう体制づくりを行っています。また最近は大腸癌患者の増加に伴い、一時的・永久的人工肛門増設も増えています。患者さまの身体の一部となった人工肛門の管理、指導も私達の大切な援助ですが、なかにはストマ製品が合わず、苦慮していることもあります。少しでも患者さまに快適な療養生活を送っていただけるよう、日々奮闘している3A病棟です。



リハビリ室で処置中



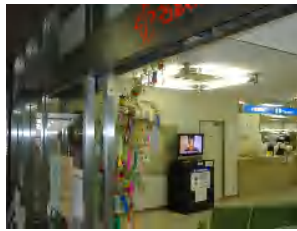
清拭をしています。



情報収集をしています。

## 七夕に願いをこめて

名鉄病院入口に「病気が治りますように」「将来の夢」などの願いを込めて短冊を飾りました。患者さまの願いが叶いますように…。



## 病診連携用駐車場について



駐車場入口



専用駐車場  
(14.15.16)

名鉄病院1号館前に、病診連携専用の駐車場をご用意しております。当院へ車でお越しの際にご利用ください。なお、満車の場合もございますので、事前に地域医療連携室へご連絡いただければ駐車場をご用意させていただきます。

## 連携室より一言

本ニュースレターにも紹介させていただきましたように6月から、紹介患者さまが受診された際は、全て地域医療連携室の紹介患者専用窓口にて受付させていただくようになりました。また、合わせて地域医療連携室の職員も増員いたしました。先生方への対応、患者さまへの対応ともにこれまでよりもきめ細かく対応できるものと考えておりますので、今後とも宜しくお願いいたします。

(地域医療連携室長 佐尾 浩)

名鉄病院 医療支援センター 地域医療連携室  
〒451-8511 名古屋市西区栄生2-26-11  
TEL.052-551-6121(代) 052-586-5755(連携室) FAX.052-586-5756  
URL : <http://www.meitetsu-hospital.jp/>